

第5学年 外国語活動指導案

日 時 平成25年9月20日（金）

児 童 5年2組（男12名・女12名 計24名）

指導者 HRT 菊池 雅子

ALT サミュエル・イビクンレ

1 単元名 Hi! Friends 1 What do you like? 「友だちにインタビューしよう」(Lesson 5)

2 単元目標

- ・好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。
- ・色や形、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。
- ・日本語と英語の音の違いに気付く。

3 単元評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしている。
- ・友達のよさや、できるようになったことについて気づいている。

【外国語への慣れ親しみ】

- ・色や形を聞いたり言ったりしている。
- ・好きなものは何かを尋ねたり答えたりしている。

【言語や文化に関する気付き】

- ・日本語と英語の音の違いに気付いている。

4 表現

What do you like? What animal/color/fruit/sport do you like? I like rabbits/red/bananas/soccer. red, blue, yellow, pink, green, brown, orange, purple, black, white, heart, star, circle, triangle, T-shirt

5 単元について

(1) 教材観

本単元では、まず、Tシャツの色や模様を説明する音声を聞いて、色や形の言い方に気付かせる活動が用意されている。児童は、すでに外来語で色や形の言い方にふれていることが多い。そこで日本語の中の外来語を、そのもとになる英語の音の違いに気付かせるようにする。その後、What ○○（色・形）do you like?という言い方を使い、相手の好みを聞きTシャツを選ぶ活動を通して、What ○○ do you like? I like ○○. という表現に慣れ親しませていく。最後には、児童同士で好きなもの（食べ物・動物・スポーツなど）を尋ね合いながら、コミュニケーションの楽しさや有用性にも気付かせていく。

(2) 児童について

本学級の児童は、外国語の学習への意欲が大変高く、毎時間の学習を心待ちにしている児童が大半であるが中には、「発音に困ってしまう」「分からないときがある」「歌(チャンツ)ならできるのに、会話になると言えない」などと、不安を抱える児童も数名見られる。

しかし、全員が、「外国語(英語)を使えるようになりたい」と答えていることから、新しく習う単語や表現を丁寧に扱ったり、必要感をもって会話に取り組めるような手立てを準備したりする事で児童の不安解消に努め、楽しく外国語にふれる活動を心がけ、英語ができるようにするのではなく、「自分のことや気持ちを表現しようとする姿勢」や「外国語(英語)を使ってみようとする姿勢」を認め、励ましていきたい。

(3) 指導にあたって

本時は、HRTとALTのティームティーチングの形態で展開する。HRTのみで行う授業の時とは違い、ALTの活用を意識していきたい。ALTの活用場面としては①チャンツや練習の際の発音の模範②アクティビティの例示(HRTと一緒に)③アクティビティへの参加を特に意識したい。

児童へのアンケートの結果から、「外国語活動の時間に楽しいと思うことは」という質問に対し、「外国語を知ることができるから」「英語で話すことが楽しいから」と答えた児童が一番多く、次に「様々なことを覚えられるから」「日常で使えるから」と答えた児童が多い。また、少数ではあるが「JTEに外国の話が聞けたり、サム先生に本場の発音が聞けたりするから」と答えていた児童もいた。これは、「ゲームが楽しい」「チャンツが楽しい」と答えるであろうと思っていた私の予想に反していた。児童が外国語活動を通してコミュニケーションの楽しさや有用性を感じ取っていることが分かる。

そこで、本時では、前半部分で、チャンツやルーレットで十分練習をしたうえで、児童相互や児童とHRT・ALTがコミュニケーションを取る時間をしっかりと確保した展開にしたい。また、本研究のテーマでもある「必要感」をもたせる手だてとしては、最後に「私は誰でしょうクイズ」をすることをあらかじめ知らせておき、よりたくさんの友達からいろいろなことを聞きだしたいという思いを児童一人一人にもたせたい。

最後の振り返りの部分では、ふりかえりカードの項目にある「がんばっていた友達」「気づいたこと」「できるようになったこと」「伝えよう・理解しようがんばったこと」のほかに、「友達に関しての新しい気づき」や「前単元との比較」についても発言させ、コミュニケーションのよさについて気づかせていきたい。

6 単元計画(4時間)

時	目標と主な活動	評 価			
		コ	慣	気	評価規準(方法)
1	日本語と英語の音の違いに気づき、色や形の言い方を知る。 ○「色を探そう」指導者の言う色を探す。 【L1】音声教材を聞いて、どのTシャツかを			○	・日本語と英語の違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>

	<p>考える。</p> <p>【L2】 音声教材を聞いて、誰がどのTシャツが好きかを考える。</p> <p>○「ポインティングゲーム①②」</p> <p>【C】 “What color do you like?”</p>				
2	<p>色や形の言い方に慣れ親しみ、好きなものは何かを尋ねる表現を知る。</p> <p>○「ポインティングゲーム③④」</p> <p>○「ミッシングゲーム」</p> <p>【C】 “What color do you like?”</p> <p>○「ラッキーカードゲーム」</p>		○		<p>・色や形を聞いたり、言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p> <p>・色や形を聞いたり、言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>
3	<p>色や形の言い方や、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。</p> <p>【C】 “What color do you like?”</p> <p>【L3】 「さくらとたくのTシャツは何番か、考えよう。」</p> <p>【P】 「友達にTシャツを作ろう。」</p> <p>○「カテゴリー分け」絵カードを「色」「動物」「食べ物」のグループに分ける</p> <p>【C】 “What color do you like?”</p>		○	○	<p>・色や形を聞いている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p> <p>・好きなものは何かを尋ねたり答えたりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>
4	<p>好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p>【C】 “What color do you like?”</p> <p>○「ルーレット」</p> <p>【Activity】 「友達に何が好きかインタビューしよう。」</p> <p>○「私は誰でしょうクイズ」</p>		○	○	<p>・進んで好きなものを尋ねたり、答えたりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p> <p>・友達のよさや、できるようになったことについて気づいている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>
本時					

7 本時の活動

<p>1 - Lesson 5 What do you like? 4/4 時間</p> <p>目標 好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 友達のよさや、できるようになったことについて気づいている。</p> <p>準備 デジタル教材, ルーレット</p>
--

児童の活動	指導者の活動		・指導上の留意点 ◎評価規準〈評価方法〉【評価の観点】
	HRT	ALT	
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする ・めあてを知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">何が好きか、友達にインタビューしよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを児童に知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体にあいさつをし、天気や日などに、曜日などの言い方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「必要感」をもって友だちにインタビューできるように、めあての確認をしっかりとする。
<p>【Let's Chant】</p> <p>“What color do you like?”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を見ながら、様々なカテゴリーや語に替えて言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、“What ○○ do you like?” I like○○.の言い方に慣れ親しむことができるように、速さを変えたり、語やカテゴリーを替えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が上手く言えなかったり自信がなさそうな言葉について、児童が、自身をもって正しい発音で言えるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がチャンツに慣れてきたら、語やカテゴリーをかえることで、やってみたいという意欲につなげたい。
<p>○ルーレット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーレットを使いながら、さまざまなカテゴリーについて尋ねたり、答えたりする練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーレットに「色」「形」「スポーツ」「動物」「果物」「食べ物」の6つのカテゴリーを書き込んでおく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でどう発音していいかわからない児童の支援にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーレットを使うことで、いろいろなカテゴリーについて、尋ねたり答えたりする練習ができるようにしたい。
<p>【Activity】 p.21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空欄に尋ねたいものを書く。 ・友達に何が好きかインタビューし、誌面の表に記入する。 ・自分と同じ友達が入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達にインタビューをしたことをもとに、インタビュー後に「私は誰でしょうクイズ」をすることを予告し、これまでの活動や普段の様子から友達の好みをしっかりと予想させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューする際に大切なことについて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この活動では、ただ単に好きなものを聞くだけではなくて、「Hi!」や「Thank you.」「You're welcome」など、コミュニケーションを円滑にするためのことについて、HRTとALTで実際にやって

<p>ば発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内を歩いて回り，児童と一緒に活動する。特に ALT は，たくさんの児童と交流し，本場の発音を経験させるようにする。 ・インタビューの途中で中間評価を入れ，児童の活動でよかったところなどを紹介する。 ・インタビューを通して，新しく友達について気づいたことなどを交流させる。 	<p>見せ,児童にこれらの言葉を添える大切さに気付かせるようにする。</p> <p>◎進んで好きなものを尋ねたり，答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉【コ】</p>	
<p>○「私は誰でしょうクイズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表児童は，インタビューしたうちの一人になりきって，好きなものを紹介する。ほかの児童は，代表児童に What ○ ○ do you like? と尋ね，その答えから，それが誰かを予想して答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表児童と，質問する児童の役になってクイズの仕方やルールを説明する。 ・ほかの児童と一緒に，代表児童に What ○ ○ do you like? とたずねる。 ・適宜，発音のよさや，声の大きさなどについてほめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの児童が発言できるように，つぶやきを拾う。 ・児童が積極的に友だちに尋ねたり，答えたりしたことをもとに，それぞれ人によって好みが違うことを改めて感じることで，友達のことを新たに知ることを通して，言葉は人のことを理解するためにあることを感じとらせたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 ・あいさつをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック項目だけでなく，友達のよさや，コミュニケーションの楽しさなどについて発言させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の感想や児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる ・あいさつをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子等についてよかったところを具体的にあげて確認することで，児童の次時への意欲を高めるようにする。 ◎友達のよさや，できるようになったことについて気づいている。〈行動観察・振り返りカード点検〉【コ】

評価規準

- ・進んで好きなものを尋ねたり，答えたりしている。【コ】〈行動観察・振り返りカード〉
- ・友達のよさや，できるようになったことについて気づいている。【コ】〈行動観察・振り返りカード点検〉